

2018年度(平成30年度)江刺保育園職員保育目標と反省及び自己評価

NO	自己目標	反省と自己評価
1	30分以上保育園全体の子どもたちと触れ合う	子どもたちとの関わり合いが保護者との良い関係に繋がることが確認できた。0歳児との触れ合いは十分にできなかったことを反省する。今後も出来得る限り多くの子どもたちとの直接関わる時間を持つことに努力する。
2	園だよりに記念日を掲載する。 新しい歌遊びを取り入れる。	園だよりは目標を達成することが出来た。 新しい歌遊びは目標を達成することが出来なかった。
3	1日3人以上の子どもとじっくり関わりスキンシップをはかる。	子どもとの信頼関係を深めることが出来た。 子どもの姿をより知ることが出来た。
4	見通しを持った保育計画を策定し、実践する。	最初の内はできていたが、行事などが多くなると余裕を持った保育が出来なくなってしまった。
5	チームリーダーとして良い保育環境を構築する。	よいチームワークで保育が出来たと思う。子どもとの良い関係性が出来たと思う。
6	子どもをひざに乗せ絵本の読み聞かせや、子どもの話をしっかりと聴くようにする。	意識的に関わる事が出来た。個々の子どもたちの思いを知ることが出来た。但し、忙しい時は余裕が無くなりできなくなることがあった。
7	3カ月に1つは集団遊びやわらべ歌遊びを伝え、子どもたちと楽しむ	年度が進むにつれ子どもたちの方からリクエストが出るようになった。出来るだけ誉めること、一緒に楽しむ保育を心がけることにさらに努力したい。
8	業務遂行、体力維持	衛生管理の点で改善すべき点(おしぼりは一緒に洗わない、嘔吐物は洗濯しないでそのまま返す、)新年度はAEDの講習を希望する。ヒアリハット報告はただ単に報告だけになっているので事例研究等を行い深めたいと思う。保育中の私語が多い。それぞれ自分の意見や思いをはっきりと発言すべきである。
9	給食メニューを見直す。栄養指導教材をリニューアルする。	ほぼ改善できた。リニューアルについては職員が産休等で休む等、通常業務をこなすことで精一杯であり継続目標としたい。
10	効率よく仕事をする	優先順位を決め効率的に業務を勧めることに努力した。事務仕事をためないように努力した。慣れてくるとミスや忘れてしまうことがあった。
11	良い所を見つけ2回以上誉める。	事業が進むにつれ子どもたちの楽しんでいる姿が多く見られるようになった。地域貢献事業を行うことの重要性を認識することが出来た。
12	クラス全員の子どもたちとスキンシップを取る。話をする。	クラス全員とは出来なかった。目標を5人が出来る人数だと思った。自分の働きに余裕を持ち、落ち着いて保育をするように努力したい。
13	出来るだけ多くの子どもと1対1でお話する。関係を深め、子どもの姿を知る。ピアノが苦手なので出来るだけ弾く機会を多く持つ。	多くの子どもたちと関わる事が出来たと思う。ピアノを弾く目標は、行事の時だけになってしまい達成できなかった。
14	保育事務、経理会計の仕組みを知る	公定価格の仕組みを学習した。実務を通して深めることが出来たが、今後も継続して行きたい。
15	1日5人を目標にし、関係を深める。	ほぼ目標を達成できた。子どもたちの成長を実感することが出来た。

16	1日5人を目標にし、スキンシップを深める。	年度が進むにつれ子どもたちとの関係を深めることが出来た。クラス内のチームワークが良く、良い対応ができたと思う。
17	「傾聴」することを心がける。	利用者のありのままを受け入れ「傾聴」することに努力したが、実際の対応は難しいことを改めて知る。今後も利用者が心を割って話してできるように努めて行きたい。
18	親が安全に、安心して過ぎすことが出来る環境を整える。	様々な相談があり適切な助言ができたのかどうか不安がある。家庭の事情や、家族間の課題が多く、対応に難しさを感じるが、できるだけお話を聞けるように努力して行きたい。
19	1日3人以上を目標にし、スキンシップ、声掛けを行い、関係を深める。	子どもとの関わりが丁寧ではなくなってしまった。また、注意をすることが多くなり反省している。もう少し誉めることに重点を置いた保育をしたい。
20	子どもたちの様子を見守りながら、一人ひとりの要求を受け止め、触れ合い遊びを共に楽しむ。	目標を念頭に置き対応するように努力しましたが、トラブルの時素早い対応ができなかったのは反省です。
21	他のクラスの子どもたちにたくさん声を掛ける。子どもの姿を把握し保育を行う。	意識的に関わることが出来、子どもたちの成長を実感することが出来た。声掛けを行ったことによって、子どもたちの方から声を掛けてくれるようになった。
22	1日10人以上の子どもを抱っこし、お話する。	目標をもって対応したことで、子どもたちと良い関係が出来たと感じています。まだ幼い言葉の出ない子にも、ぎゅっと抱っこすることによって笑顔になり楽しい気持ちになることが出来た。子どもたちから学ぶことが沢山あった。